

共に歩まん

3密を避け、授業の遅れを取り戻しながら 「主体的・対話的で深い学び」へ向かう工夫

♪音楽



歌や器楽の活動が制限されているけれど、どうやって授業を進めればよいのだろう。

中学校教材『浜辺の歌』での授業場面を例として
題材名：「曲想を感じ取り，形式を生かしてふさわしい表現を工夫しよう」

第1時 「浜辺の歌」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいなどに関心をもつ。

○「浜辺の歌」の範唱を聴いて，印象などをワークシート記入する。

☆教科書会社のホームページに掲載されている学習支援コンテンツ(音源)などを活用し，家庭学習の一環とすることも可能。



第2時 「浜辺の歌」の音楽を形作っている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じて，知覚したことと感受したことの関わりについて考える。

○「浜辺の歌」を口ずさんだり，CDを聴いたりして，リズム(拍子)や速度，旋律(音のつながりやフレーズ)，強弱など，捉えた音楽の特徴をワークシートに記入する。

☆ 旋律を頭の中で歌ったりハミングしたりする。
☆ 楽譜に記された音符を音の高さに合わせて線で結び視覚化する。
☆ 歌詞の内容や歌詞に込められた思いをワークシートに書きとめる。



第3時 「浜辺の歌」で自分が捉えた特徴をもとに，曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解するとともに，音楽表現を創意工夫する。

○聴き取ったこと(知覚)や感じたこと(感受)をもとに自分なりの音楽表現を追求する。

☆ あらかじめタブレット端末に音源や楽譜データを入れておき，タブレット上で音源を聴いたり，工夫を楽譜に書き込んだりして試行する。

○いろいろな演奏者の演奏を聴き比べ，表現の違いを感じとる。

☆インターネットで配信されている音源等も活用する。

○お互いの工夫を発表しあう。

☆ ホワイトボードを使い，小グループでお互いの情報を共有する。
☆ タブレット端末でワークシートを画面提示したり，授業者が読み上げ交流したりする。



第4時 創意工夫を生かして「浜辺の歌」を表現する。

○思いや意図をもって「浜辺の歌」を表現する。

☆ 曲想や諸記号をふまえた上で，歌唱や演奏を他の表現方法に置き換える。
【手拍子や膝打ち，足踏み，アルトリコーダーでの演奏，指揮による身体表現など】
☆ タブレットの録音機能を使い，それぞれが工夫した歌や演奏を録音し，発表する。



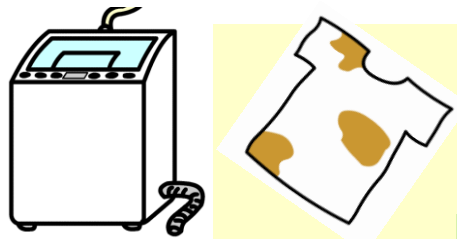
歌唱や器楽表現ができなければ何もできない…と思いがちですが，見方を変えてみましょう。歌唱や器楽表現への制限が解除されたときに，今までよりも豊かな表現ができるよう，今できる活動を考えてみるのもよいでしょう。今は，自分自身との対話や音楽との対話に焦点を当ててみましょう。

3密を避け、授業の遅れを取り戻しながら 「主体的・対話的で深い学び」へ向かう工夫

家庭科

子どもたちが楽しみにしていた調理実習や、幼児との交流などの、先送りする題材と、今のうちに進めておきたい題材を整理して、効率的な履修を進めましょう。

題材と対話し(触れ合い)ながら学んでいくことが大切な教科です。体験する場と機会を、学校ならではの強みを生かして保障していきたいですね。
小学校6(5)年「すずしく快適に過ごす着方と手入れ」に関わる題材を例にみてみましょう。



学びに向かう力
生活の中からの
問題発見

家では洗濯機を使うけど...
部分的に汚れていたり、汚
れのひどいものは？

実際の家庭生活から問いが立上がりにくい場合、**視聴覚機器を用いて**、子どもを集めたり分けたりしなくても一度に全員が見られるような**事象提示**を行うことが考えられます。

子どもが自分で試行し、体験から感じたことを基に学習を進めていきます。
時数削減のため「**□□□**」部を省略する場合も、子どもの問いを引き出す**示範動画**などが有効です。

解決のための計画

〇〇を手洗いしてみたい

洗剤の量はどのくらい？

どんな洗い方がよいのかな

布地によって、洗い方を変えてみよう

密を避けるため、外水道や他教室などに**分散して実習**を行います。身の回りの小物を洗うと時間短縮になります。

実践・考察

こすり方が弱かったから、汚れが落ちにくかった。
ぬるま湯を使ったらよさそうだよ。
きれいになったけど、泡がなかなか落ちなくて困った。

対面せず協働的な学びを成立させるために、**小さいカード型の学習カード**を交換したり掲示したりして見合うことで、友の追究のよさや困っていることを共有できます。

思考判断
計画を修正・更新

もみ洗いやつまみ洗いを取り入れてみよう。
洗剤は多すぎても汚れが落ちるわけではないんだね。
すすぎで泡が早く落ちた友だちの洗濯手順を試そう。

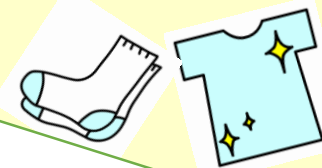
互いの目的や方法を教室で確認した後、**分散して実習**を行います。**思考の変容が記述で見とどけられるカード**を工夫しましょう。

技能知識
実践・考察

すすぐ前に、洗剤液をしぼっておけば、すすぎが楽になることがやってみてわかった。使う水の量も少しですむから、すすぐ前のねじりしぼりは大切だね。

見とどけ
実践のまとめと共有
新たな問い

今度から、自分の汚れた靴下は、手洗いでもきれいにできそうだ。
学んだ方法で洗濯することが、洗剤や水の量を減らすことになるとわかった。
地球にやさしくできる家庭の仕事は他にないかな。



衣服の手入れの学習と**関連した題材をまとめ再構成**し、できる時期に効率的な履修を行っておくことが考えられます。

例) 表示や品質・環境マーク(持続可能な社会と消費)
例) 環境に配慮した暮らし方 例) 家庭の仕事・家族

学習指導要領では「生活の課題と実践」が指導内容として新たに位置付けられました。家庭でやってみることで、実践力の高まりをねらいます。この時期、**家庭で進められることと、学校で行うことを明確に題材を構想していくことが一層大切**になります。



実習題材の精選や、軽重をつけた弾力的な時数配分を行い、確実に指導事項を扱っていきましょう。実感を伴って理解する学習が、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力の育成につながっていきます。

